



平成 23 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 7 日

上場会社名 サンケイ化学株式会社 上場取引所 福
 コード番号 4995 URL <http://www.sankei-chem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 宮下 武久 (TEL) 099(268) 7588
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 13 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 11 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 11 月期第 3 四半期	4,963	△5.0	144	△28.2	177	△14.4	101	△22.8
22 年 11 月期第 3 四半期	5,224	5.3	201	△23.4	206	△25.6	131	△10.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	10.41	—
22 年 11 月期第 3 四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	6,233	1,993	31.3	199.48
22 年 11 月期	5,491	1,923	34.1	191.50

(参考) 自己資本 23 年 11 月期第 3 四半期 1,951 百万円 22 年 11 月期 1,874 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 11 月期	—	—	—	1.50	1.50
23 年 11 月期	—	—	—	—	—
23 年 11 月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,570	△2.3	215	31.2	210	21.3	105	1.1	10.73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年11月期3Q	10,197,000株	22年11月期	10,197,000株
23年11月期3Q	411,851株	22年11月期	410,349株
23年11月期3Q	9,785,365株	22年11月期3Q	9,787,099株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象に関する注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする新興国の経済成長を背景に、輸出の拡大や設備投資の増加などで緩やかな景気回復の兆しがみられました。しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災が経済に与えた影響は大きく、また円高傾向も引き続き、厳しい状況のまま推移いたしました。

国内の農業に関しましては、東日本大震災の津波による塩害や、原子力発電所事故による農作物への風評被害など厳しい対応に迫られております。

このような情勢のもと、当社グループは、従来からの地域密着を基本に、食品由来物質による「サンクリスタル乳剤」、「ハッパ乳剤」、「ビオネクト」並びに水田のスクミリンゴガイ防除薬剤「スクミノン」等の独自剤を中心に、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業並びに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49億63百万円（前年同期比2億61百万円、5.0%減）となりました。損益面では、売上原価率は低下しましたが売上高が減少したことにより営業利益は1億44百万円（前年同期比56百万円、28.2%減）、経常利益は1億77百万円（前年同期比29百万円、14.4%減）となり、四半期純利益は1億1百万円（前年同期比30百万円、22.8%減）となりました。

当社グループはセグメントは公表しておりませんが、製品の用途別売上は次のとおりであります。殺虫剤は、畑作用が減少し28億26百万円（前年同期比3億41百万円、10.8%減）、殺菌剤は園芸用・非農耕地用が増加し6億53百万円（前年同期比87百万円、15.4%増）、殺虫殺菌剤は水稻用が減少し3億77百万円（前年同期比45百万円、10.83%減）、除草剤は園芸用が増加し4億32百万円（前年同期比59百万円、16.0%増）、その他は園芸用が減少し3億56百万円（前年同期比40百万円、10.1%減）、農業外その他は防除事業及びその他資材が増加し3億16百万円（前年同期比18百万円、6.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は62億33百万円で、前連結会計年度末に比べて7億42百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金並びに信託受益権等が増加したことによるものであります。

負債は42億40百万円で、前連結会計年度末に比べて6億73百万円の増加となりました。これは主に短期及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は19億93百万円で、前連結会計年度末に比べて69百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円増加し、9億98百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億84百万円の減少（前年同期は2億13百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億75百万円、賞与引当金の減少額42百万円等の資金増加を、たな卸資産の増加1億73百万円、売上債権の増加5億51百万円等の資金減少が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、68百万円の減少（前年同期は1億46百万円の減少）となりました。これは主に固定資産の取得67百万円等の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億68百万円の増加（前年同期は8億63百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金による5億円、短期借入金による4億10百万円等の資金増加が、長期借入金の返済1億17百万円、配当金の支払14百万円等の資金減少を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月期の通期の連結業績予想は、平成22年11月期決算発表時（平成23年1月14日）の業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係わる減価償却費の額を期間按分して処理する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所について、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現在のところ移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	998,935	884,245
受取手形及び売掛金	1,569,636	1,364,715
信託受益権	852,781	506,552
商品及び製品	932,401	841,887
仕掛品	73,645	66,972
原材料及び貯蔵品	305,814	229,225
繰延税金資産	68,736	54,421
その他	27,373	109,428
貸倒引当金	△900	△1,293
流動資産合計	4,828,425	4,056,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	262,520	279,487
機械装置及び運搬具(純額)	134,760	169,376
土地	125,824	125,824
リース資産(純額)	43,510	35,035
その他(純額)	42,593	41,909
有形固定資産合計	609,210	651,633
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	30,600	30,600
その他	3,299	2,950
無形固定資産合計	33,899	33,550
投資その他の資産		
投資有価証券	484,272	477,887
長期貸付金	39,834	39,010
繰延税金資産	115,885	108,731
その他	137,812	139,994
貸倒引当金	△15,475	△15,475
投資その他の資産合計	762,331	750,148
固定資産合計	1,405,440	1,435,332
資産合計	6,233,866	5,491,488

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,276,452	1,382,429
短期借入金	1,280,000	870,000
1年内返済予定の長期借入金	176,600	90,400
リース債務	13,027	9,739
未払法人税等	84,116	3,362
賞与引当金	54,645	11,685
販売促進引当金	73,043	101,599
その他	209,421	352,761
流動負債合計	3,167,306	2,821,978
固定負債		
長期借入金	470,000	174,000
リース債務	32,861	27,338
退職給付引当金	327,991	302,183
役員退職慰労引当金	57,032	59,340
その他	185,505	182,752
固定負債合計	1,073,390	745,614
負債合計	4,240,697	3,567,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	295,451	295,451
利益剰余金	995,633	908,480
自己株式	△40,030	△39,896
株主資本合計	1,915,554	1,828,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,401	45,600
評価・換算差額等合計	36,401	45,600
少数株主持分	41,213	49,758
純資産合計	1,993,168	1,923,894
負債純資産合計	6,233,866	5,491,488

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
売上高	5,224,747	4,963,015
売上原価	3,908,773	3,706,818
売上総利益	1,315,973	1,256,196
販売費及び一般管理費	1,114,304	1,111,327
営業利益	201,669	144,869
営業外収益		
受取利息	1,243	1,078
受取配当金	3,025	4,002
持分法による投資利益	15,198	21,891
その他	10,337	25,798
営業外収益合計	29,804	52,771
営業外費用		
支払利息	19,946	18,779
その他	4,687	1,764
営業外費用合計	24,634	20,544
経常利益	206,840	177,097
特別利益		
固定資産売却益	234	—
貸倒引当金戻入額	428	340
役員退職慰労引当金戻入額	10,700	—
特別利益合計	11,363	340
特別損失		
固定資産除却損	546	239
ゴルフ会員権評価損	—	828
リース解約損	—	417
特別損失合計	546	1,485
税金等調整前四半期純利益	217,656	175,951
法人税、住民税及び事業税	52,750	97,427
法人税等調整額	35,781	△15,147
法人税等合計	88,532	82,280
少数株主損益調整前四半期純利益	129,124	93,671
少数株主損失(△)	△2,817	△8,161
四半期純利益	131,941	101,832

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	1,412,502	1,274,926
売上原価	1,080,345	975,254
売上総利益	332,156	299,672
販売費及び一般管理費	366,166	363,139
営業損失(△)	△34,009	△63,467
営業外収益		
受取利息	429	413
受取配当金	1,866	2,424
持分法による投資利益	5,151	11,597
その他	3,759	5,659
営業外収益合計	11,207	20,094
営業外費用		
支払利息	7,296	6,550
その他	546	496
営業外費用合計	7,842	7,047
経常損失(△)	△30,644	△50,420
特別利益		
固定資産売却益	234	—
貸倒引当金戻入額	155	195
特別利益合計	390	195
税金等調整前四半期純損失(△)	△30,253	△50,224
法人税、住民税及び事業税	△16,047	△20,184
法人税等調整額	3,273	4,511
法人税等合計	△12,773	△15,673
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,479	△34,550
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,014	△1,717
四半期純損失(△)	△18,494	△32,833

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	217,656	175,951
減価償却費	85,654	88,644
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,785	25,808
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25,948	△2,307
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,140	42,960
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△400	△392
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△27,047	△28,556
受取利息及び受取配当金	△4,268	△5,080
支払利息	19,946	18,779
持分法による投資損益 (△は益)	△15,198	△21,891
売上債権の増減額 (△は増加)	△284,212	△551,150
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,147	△173,777
仕入債務の増減額 (△は減少)	137,741	△68,403
その他	△52,742	△92,235
小計	△57,323	△591,652
利息及び配当金の受取額	6,035	6,547
利息の支払額	△19,462	△20,522
法人税等の還付額	883	37,523
法人税等の支払額	△143,586	△16,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213,454	△584,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△147,646	△67,763
有形固定資産の売却による収入	252	—
投資有価証券の取得による支出	△1,699	△1,773
貸付けによる支出	△1,200	△284
貸付金の回収による収入	4,047	1,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,245	△68,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	737,500	410,000
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△57,800	△117,800
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,543	△8,640
自己株式の取得による支出	△40	△134
配当金の支払額	△9,787	△14,679
少数株主への配当金の支払額	△482	△482
財務活動によるキャッシュ・フロー	863,846	768,262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	504,146	114,689
現金及び現金同等物の期首残高	525,965	884,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,112	998,935

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象に関する注記

当社は、平成23年9月2日開催の取締役会において、当社鹿児島工場に隣接する鹿児島肥料工業協同組合所有の建物について、倉庫として賃借しておりましたが、同組合が解散することに伴い今後の事業展開及び保管倉庫確保の観点から、同組合が所有する土地及び建物を取得することを決議いたしました。

取得の日程

取締役会決議：平成23年9月2日

売買契約書締結：平成23年10月4日

物件引渡：平成23年10月4日

取得金額は土地、建物を含めて204,719千円であります。